

経尿道的膀胱腫瘍切除術を受けられる患者さんへ

患者氏名：

主治医：

受け持ち看護師：

項目	手術前日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後1日目	手術後2日目～退院まで
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術に対して分からないことや不安なことを医療者に表出し、精神面・身体面を整えて手術を受けることができる 手術後の経過が理解でき、不明な点があれば医療者に質問し、解決できる 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後必要な処置を受け入れることができる。（血尿がある場合は尿の管から膀胱の中を洗います） 管の違和感、痛み、吐き気や頭痛などの症状が出現した時は、医療者へ伝えることができる 手術後の禁止事項（指示があるまで歩行できないこと、尿の管は医師の指示があるまで抜去できないこと）などが守れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後必要な処置を受けることができる（尿の管が入っています） 管の違和感、痛みなどの症状が出現した時、医療者に伝えることができる 飲水が1000m l /日摂取でき、食事が半分以上摂取できる 	<ul style="list-style-type: none"> 血尿の有無を観察し、血尿がある場合は医療者に伝えることができる 痛みや下腹部の張り、尿がでにくいなどの症状出現時、医療者に伝えることができる 飲水が1000～1500m l /日以上摂取できる 退院後の日常生活注意事項、外来受診必要性が理解でき、実施できる 	
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 入院の際、内容確認のために普段飲んでいる薬（医師から処方された薬）を一度預かります。続けて薬を飲む場合は、説明します。 	<ul style="list-style-type: none"> 6時頃に、体温、血圧を測ります 肌着を脱いで手術衣を着用します。 弾性ストッキングを着用します 水分を補給するため、必要時、点滴を行います コンタクトレンズ、めがね、入れ歯を外してください 医師、看護師と一緒に手術室に行きます 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室からベッドで部屋に戻ります 医師の指示で、酸素マスク、心電図をつけます 看護師が定期的に全身状態の観察を行います 食事が食べられるようになるまで点滴をします 痛みが強い時は痛み止めを使いますので、お知らせください 	<ul style="list-style-type: none"> 診察があります 朝食が摂取でき、発熱やトマトジュースのような血尿がなければ、点滴を抜きます 痛みが強いときには鎮痛剤を使用します 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血、尿検査があります 			<ul style="list-style-type: none"> 採血があります 	<ul style="list-style-type: none"> 特に予定をしている検査はありません
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 		<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示があるまでベッド上で過ごします。寝返りは可能ですが、ベッドを起こす事はできません。 用件がある時は、ナースコールを押してください 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後、最初に歩行する方は、看護師と一緒に歩きます。その後、気分不快などがなければ、一人で歩きます 尿の管が入っているときは、歩行時に引っ張らないように気を付けてください 	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません
食事	<ul style="list-style-type: none"> 夕食までは食べて頂き、その後は麻酔科の医師の指示に従います 	<ul style="list-style-type: none"> 飲水、食事はできません。うがいはできます 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後、医師の指示で、水分を摂取できます 午前中手術の方は、医師の指示で夕食より食事を開始します 	<ul style="list-style-type: none"> 普通食 	<ul style="list-style-type: none"> 普通食 
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません。 爪が伸びている場合は、切りましょう マニキュアをしている場合は、落としましょう 入院後、女性は化粧を落としましょう（顔色などを見るため） 		<ul style="list-style-type: none"> 手術後はベッドの上で歯磨き、顔拭きをします 	<ul style="list-style-type: none"> 体を拭きます 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴が抜ければ、尿の管が入ったままでもシャワーに入れます 
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません 		<ul style="list-style-type: none"> 手術中に尿を出すための管が入ります 	<ul style="list-style-type: none"> 尿の管は入ったままです 	<ul style="list-style-type: none"> 見ただ目で血尿がなければ尿の管は抜きます 尿の管を抜いた後、尿の観察をするためにカップにとっていただきます 4時間たっても尿が出ない場合や、トマトジュースのような血尿がある時はお知らせください
患者様及びご家族への説明・栄養指導・服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が今までの生活についてお話を伺い、手術前後の経過について説明します 主治医より本人・ご家族へ手術の説明を行います。その後、手術同意書に署名・捺印していただきます 麻酔科の医師が麻酔について説明します。麻酔同意書に署名・捺印していただきます 手術室看護師が訪問をします 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室は3階です 手術は、()番目です。一番目の方は、8時頃に手術室へ行きます。二番目以降の方は、連絡が来てから手術室へ行きます 手術後、医師から手術の説明があります 手術室からの連絡は全て病棟に入りますので、ご家族の方は病室か7階のデイルームでお待ちください 貴重品はご家族に預けるか金庫に入れて下さい（鍵はご家族に預けてください） 	<ul style="list-style-type: none"> 血栓を予防するために、膝が曲がるようになれば足首のそり返しや足の曲げ伸ばしをしましょう 食事が開始となれば、薬も始まります。ただし、薬を飲まない場合は、再度お知らせします。 点滴はそのまま続けます 	<ul style="list-style-type: none"> 食事が開始となれば、薬も始まります。ただし、薬を飲まない場合は、再度お知らせします 	<ul style="list-style-type: none"> パンフレットを用いて退院後の日常生活について説明します 
その他	<ul style="list-style-type: none"> 準備するものT字帯2枚、バスタオル1枚、ストロー又は薬のみ) 深部静脈血栓を予防するための弾性ストッキングをお渡しします 診断書のご希望がある場合は、外来棟の文書受付に申請して下さい（書類にはお名前、生年月日を事前にお書きください） 			<ul style="list-style-type: none"> 深部静脈血栓をするための弾性ストッキングを脱ぐ際には、看護師からお知らせします 	<ul style="list-style-type: none"> 入院費は退院日に精算となります。前もって金額が知りたい方は、看護師または事務員にお知らせください。 <p style="text-align: right;"> 宮崎大学医学部附属病院 泌尿器科外来 0985-85-9317 泌尿器科病棟 0985-85-1898 総合予約室 0985-85-1225 ※時間外は病棟に電話をおかけください </p>

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください。

宮崎大学医学部附属病院